

総合戦略（政策パッケージ毎）の検証結果への対応方針：第2・3回検証部会（H28.7.22/H28.7.27）【別紙3】

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1～3	(4) 将来性 1～3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直す 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直す 4. ご意見として承り、今後の参考とする		
基本目標(1)安定したしごと・雇用を創出する								
(ア)	総合戦略の企画と地域の民産官学労が連携した推進組織の整備	2.4	2.3	2.5	(A)日々の生活に追われている町民の方々に近未来の事を説明しても中々実感が伴わないところがあります。しかし、その現実をしっかりと説明しつつ、将来への布石を確実なものとする各種政策を吟味、検証することは欠かせないことであると考えます。	企画財政課	4	ご意見として承り、地方創生の取り組みを推進します。
					(D)人口ビジョンに掲げられた数値に疑問は残るものの、職員及び町民が各会議や事業に反映させるため、情報共有に努める必要がある。	企画財政課	4	広報紙などを活用し情報共有の強化に努めます。
					(D)事業の取り組み状況は、「実施した」との記入により100%の達成と評価されているが、担当者の問題意識にもあるように計画や評価の中身、内容が検討されなければならない。PDCAサイクルやKPIは、経営及び評価の一手法であり、いかに次の段階において実践的で有効なものにするかが重要である。進捗管理方法に、なお一層の工夫が必要である。	企画財政課	3	継続して進捗管理方法(検証含む)の改善に努めます。
					(D)空き家調査管理システム事業については、今後の成果(具体的実践)に期待したい。 (F)特に空き家調査・管理システムは、将来的に有効だと思われる。	まちづくり防災課	4	特定空家等の対策について具体的に検討を進めていきます。
(イ)	後継者・担い手農家の育成と農業基盤の整備	1.9	1.8	2.0	(A)農業は当町にとっての基礎をなす産業であります。14件もの事業が展開されてしかるべきものがあります。只、青年就農給付金の項目にあるように新しい担い手をいかに確保するかが大きな課題と思われます。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(C)認定農業者数の増加と農地集約面積の増加率が目標値を上回ったこと等を評価したい。また、農酒会の設立による地元、おいらせ町産「まっしぐら」の生産者拡大(旧百石地区から下田地区まで)等、今後期待したい。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(D)掲げられる多くの事業は、各自自治体横並びの補助事業であり、現在の課題に即応するための事業である。施策の継続により、現在の農家の経営安定に繋がるかもしれないが、人口減対策としての新規就農、後継者育成、雇用安定に繋がるか疑問である。総合戦略の視点では、新規就農給付金の活用と環境づくりの取り組みに注視していきたい。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F)事業数が多く、判定するのが非常に困難。	企画財政課	3	今年度は、政策パッケージ毎の検証を実施したが、次回は検証方法を見直します。
					(F)農業分野は産業振興、しごと・雇用の創出がメインとなる可能性が高く、県、国とタイアップした事業だから細分化されているのも理解できるが、もっと絞って資本(予算)を投入するべきだと思う。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進行管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする		
(ウ)	おいらせブランドの 確立	1.8	1.5	2.0	(A) 地場産米を使った「穂の泉」が開発されました。大変に結構なことであり。しかし、数字を見る限り販売力の強化が急務であろうと考えます。町内の酒店に置くだけでは限界があります。ということはブランドとしては、まだ未確立であります。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(C) ブランド推進協議会は、平成27年度に旧物産振興会を吸収合併することになり、業務内容、役員人事の他、全てにわたって見直しが行われた。その為、平成27年度は、認定の為の審査会・評価委員会が開催されなかったが、今年度からはスムーズな事業運営がなされるものと思う。	商工観光課	4	ご意見として承ります。(※旧物産振興会は、吸収合併の手続きはせず、解散しています。(具体的には、同振興会の会員のうち、おいらせブランド推進協議会に入会していない会員が、同振興会解散と前後して、同協議会へ加入しています。)
					(D) 流通、市場を意識した販路拡大の施策が不足している。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(D) 事業の継続性が障壁となっていて、ブランドとして定着できていない。あれもこれでもなく、1点突破の成功事例が必要と考える。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F) 本来、ブランド化は単体では成立せず、生産・加工物と深い連携が必要だと考える。入口から出口まで、例えば生産体制、製品の評価、売上目標、大きく言えば地域経済への貢献度等、一貫した戦略があつてしかるべきだと思う。ブランド化することが目的ではなく、もっと大きな目標を立て、(イ)農業・(エ)水産業の政策と一緒に進めてはじめて効果がでるのではないかと考える。ブランドを作ることで満足している感がある。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					※独立採算制(穂の泉)をとるためにも利潤を追求する必要がある。	商工観光課	4	ご意見として承ります。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進行管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(エ) 水産業の経営基盤 強化	1.9	1.5	2.3	(A) 百石漁港には市場がない。漁獲品に値付けして恒常的に流通できないということです。しかし、無駄を省いた合理的な漁船運営方法は、ホッキ、ヒラメという少ない魚種で経営を安定させるうまい方法であります。課題はやはり後継者不足でしょう。	農林水産課	4	ご意見として承ります。
				(C) KPIの設定をもっと増やすべきではないか。新規漁業就労者の数値のみで低評価するのは異論がある。他地域にはない百石漁協の取り組みなどについての評価が欠けていると思う。(共同経営、5艘1艘以外にも他にない工夫などをしていると聞く。)	農林水産課	4	ご意見として承ります。
				(D) KPIの「漁獲金額」の変動にかかる分析を精緻(セイジ)に行うべきである。でなければ、マネジメントサイクルが形骸化する可能性が高い。	農林水産課	4	ご意見として承ります。
				(D) 漁業者担い手育成事業で担当課は「低」と評価している。その理由に、県内協議会の補助率の高い事業の活用、誘導をあげている。当事業の必要性、意義を再考しなければならないと考える。	農林水産課	2	来年度以降、漁業者担い手育成事業の必要性や意義を再考し、新たな事業を含めて再検討することとしています。
				(F) KPIの目標設定に問題があり、修正が必要だと思う。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				※農林水産業は売り上げのみならず文化として残されなければならない。外から見るとブルーーツーリズム的な文化があるので、一体としてPRしていく必要がある。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				※漁獲金額が大きく増加しているが、どのように分析しているのか。分析によってはKPIに向いていない指標である。	農林水産課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
(オ) 地域の生活圏に根ざした商業の充実	1.8	1.8	1.8	(A)改善資金利子補給事業は、地道な案件ですが、中小業者の力となっていると評価します。空き店舗活用支援事業の活用が4件の実績値を得ています。起業者が安定して商売しているが、追跡したデータを毎年度報告すれば参考になると考えます。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。(KPIには設定しませんが、業況・雇用状況等に関する計数を毎年把握し、本事業の検証の参考数値とします。)
				(C)県内でも有数の商業集積があるおいらせ町。22年前、全国最大規模のイオン下田SCがオープンし、県内で一番厳しい商業環境に置かれたが、それ以上にここ2~3年間のスーパー、ドラッグストア、ホームセンターの相次ぐ出店が商店街はじめ個店経営を追い詰めているように思う。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。(計画上は、商店街と大型店との共存を図ることで、経営効率の向上を目指すこととしています)
				(C)「取組内容・目指す姿」の中に、「商店街と大型店との共存を図ることで、経営効率の向上を目指します。」とあります。たしかに本町での軽トラ市には、県民生協が積極的に参加・出店し、成果を上げていますが、根本的にはかなり困難であり、それが現状です。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。(軽トラック市に関しては、賑わいの創出効果があり、来場客も喜んでいるとかがっております。)
				(D)3~5年毎でなければ判明しない実績値(統計等の公表値)をKPIに掲げるものかどうか、少なくとも近似数値を算出・記入し、検証に供することができないか。	商工観光課	3 2年、3年おきにしかな数値が算出できないので、近似値の追加・変更を検討していきます。
				(D)地元小売業者を重視した施策が多く見られるが、その一方、プレミアム商品券をはじめ一過的な効果に留まり、顧客の創造に結び付いていないように見受けられる。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				(D)地域空き店舗活用支援事業では、経営内容や事業の継続性にも着目し、評価すべきである(財務三表の提出による確認など)。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。(KPIには設定しませんが、業況・雇用状況等に関する計数を毎年把握し、本事業の検証の参考数値とします。)
				(F)軽トラ市等活性化が期待できる事業もある中で、全般的には以前よりあった事業が多いと思う。新しい発想が少なく、もっと選択と集中に取り組んだ方が良いのでは。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				※プレミアム商品券の発行に関して、小売店専用券の割合は高く設定しており、購入実績も低くないことを認識してほしい。	商工観光課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
※目標は、仕事や雇用を増やすことであり、細かくしないで、大きな金額でリスクを持たせて責任感をもってもらう。 ※町の強みや弱みをどう伸ばして克服するか、そこを精査しない限りは、国の政策のとおり総花的になっています。 ※おいらせ町は何をするべきなのか。どこに力を入れるのか。どこに投資するのか。選択と集中で特化させていって成功事例を一個でも作ったら、それをどんどん波及させていく。そのためにも成功事例を一個作ることが大事になる。 ※補助金に左右されない、町として予算を集中して優先する重点事業を決めて進める必要がある。一つひとつの予算は小さいかもしれないが、まとめることも必要である。日頃から問題意識を持って、新たな国の政策、補助事業ができたなら活用してこの事業を特化して実施するという考えがなければならぬ。	全体 (企画財政課)	2 町の強みや弱みを精査し、重点事業(目玉)及び戦略の見直しを検討します。				

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(カ)	立地条件を活かした工業振興	1.5	1.3	(A) 八戸北インター団地の販売が好調のようです。立地、進出企業の集積度を比較してしまいます。とすれば八戸に無くて当町にあるもののメリットは何なんだろうと考え方を転換してみてもよいのではないかと。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				(C) 工業製品等の出荷額では、県内でもかなり高い方である。新規企業の誘致は困難な面もあるが、既存企業では大規模な工場等の新増設はないものの、小規模な設備投資や設備の改修等が増えていると聞く。KPIには、反映されないような数値もある。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				(D) 施策の進捗状況で、誘致企業数が2社減少したとあるので、増減を一目瞭然とするためKPIの表記は「-2」とすべきではないかと。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。(別紙8 総合戦略政策パッケージ検証シート(1)キ(p20)中、誘致企業数の欄及びグラフに「-2」と記載します。)
				(D) 国内の厳しい企業環境において、横並びの諸施策で企業誘致は厳しい。将来の長期安定の工業振興を図るため、高付加価値の企業を誘致することが重要で、そのための特化した政策、長期的な視点、評価が必要である。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				(F) 実績が0であれば効果が少ないと思われる。ラインナップとしては必要だと思うが、現実的にはインセンティブが働いていないのであれば、要件等を変えてもいいと思う。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
				※誘致企業の数より雇用する企業の数が現実的で重要ではないかと。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5)判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進行管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする		
(キ)	雇用環境・人材育成の充実	1.9	2.0	1.8	(A) SC等の新規出店により数値は上がったと思う。しかし、雇用面で見ると非正規雇用がほとんどではないだろうか。決して楽観はできない。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(B) 緊急雇用奨励金の活用件数が増加したことは、雇用創出の面では一定評価できるが、周知が不足していると活用事業所に偏りが生じるため、公平性及び実行性のある事業となるよう検討いただきたい。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。(平成28年度中、町内全事業所へ案内文書を送付し、周知しています。)
					(B) 雇用創出への支援だけではなく、視点を変え、全国に比べて低迷している新卒者の定着状況や非正規社員割合の改善に結びつく施策を期待します。例えば、新卒者の雇い入れ3年後に常用雇用で定着していれば、事業所及び従業員双方に奨励金を支給する。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(C) 雇用環境としては昨今、特に充実してきている。(東京インテリア家具、菅文、県民生協等の進出による)反面、地元小規模事業者には、少なからず打撃となっていることも事実である。若年者(15~39)の非正規ではなく、正規雇用の場の確保が急務と思われる。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(D) おいらせ町を定住地として定め、就労した場合、問題は町内の誘致企業の増減より、通勤圏内とする近隣地域に就労を希望する事業所があるか否か、ということである。 (D) (前項でも記述したが)横並びの画一的な補助支援制度が誘致企業のモチベーションにつながっていない。人脈の活用、交通の至便性及び自然環境のPRなど、施策の検討を深化させる必要がある。 (D) 当初から想定された「安易な飛びつきによるコールセンター事業の失敗」は、経済的な損失より、町政の信頼性を損ねた点から総括、検証する必要がある。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。(3つ目のご意見に対して⇒新設事業所への委託は行わないことで検討します。)
					(E) 若年者の町外流出を何とか止めたいものです。百石高校では、年々県内就職者が増加しているにもかかわらず、町全体では、目標である転入超過50人にはほど遠く、実績値は流出超過27人というのは驚きました。町内中学校→百石高校→地域に就職(必ずしも町内企業でなくても)→地域の担い手になる という流れを確立したいものです。ところが町内中学校→無理して八戸や三沢の進学校→大学→県外就職のパターンが多いのでしょうか。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F) 県、国からのひも付き事業であると思うが、雇用対策事業については、残念な結果となっている。	商工観光課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。



(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)		(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5)判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(ク)	広域連携による自 立的な地域づくり ※4-エと重複	2.3	2.4	2.2	(A)連携が順調に推移していく中で、将来的に当町の自立性を如何に維持していくかが肝要。	企画財政課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(D)事務組合負担金の評価は、施策内容から行政(施策)評価に委ねたい。	企画財政課	3	来年度からは行政での評価とします。
					(D)総合戦略の視点で評価を求めるなら、なぜ広域で取り組むのか、そのメリット、そのことがどう定住促進につながっているのかの記述が必要である。	企画財政課	4	総合戦略における視点での効果等を検証資料及びアクションプランに記述します。
					(F)他市町村と関連した事業であり、単独では変えようがないと思います。総合戦略パッケージに乗せること自体に疑問あり。	企画財政課	4	ご意見として承り、掲載する意義をアクションプラン等に記述します。
基本目標(2)新しいひとの流れをつくる								
(ア)	定住促進に向けた 環境整備	1.6	1.8	1.5	(A)地域毎の定住人口比のアンバランスを解消することは大変に難しいことだろうと考えます。地域に増えている空き家を利活用する工夫が、これからは大きな事業になるのではないのでしょうか。	企画財政課	4	ご意見として承り、空き家バンクの創設など利活用を推進します。
					(D)町内の人口減少している地区を対象に補助制度を適用するのは、一時的な対策に過ぎない。地方創生の施策、人口増として効果を上げるには、定住する誘因を分析した上で、町のグランドデザイン(全体構想)として検討、対処すべきである。	企画財政課	2	既存制度の効果を検証しつつ、町全体における構想及び新制度の構築を検討します。
					(D)洋光台団地定住促進事業は、合併前からの継続的施策で、事業債務から早く処理すべき事項であり、地方創生と一緒に検討するのに違和感がある。	企画財政課	4	ご意見として承ります。
					(F)定住促進には、建物取得といったハードに属するものだけではなく、例えばシングルマザーに仕事を紹介する等のソフト面での工夫があってもいいのでは。	商工観光課 (企画財政課)	4	ご意見として承り、当町にとって有効なソフト事業を調査・検討します。

(1) 総合戦略で掲げる政策パッケージ(21政策)		(2) 総合評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(イ)	多様な交流の促進	2.1	2.3	2.0	(A)東京おいらせ会、ふるさと大使事業は、常に町外にもアンテナを張って情報収集に努めることで有効性が高い。	企画財政課	4	ご意見として承り、地方創生につながる活用方法を検討します。
					(D)集会施設の維持管理の一元化は、自治意識及び地方分権と密接に関わると考える。折衝経緯及び今後のロードマップ(行程表)の情報提供が必要である。	まちづくり防災課	4	維持管理の一元化は、建設する際の町内会との取り決めが旧町で異なるため、町内会側からすると「約束が違う」と反発がある。一元化に向けて統一した意識を持つよう働きかけを行っていきます。
					(D)いずれの事業も自己評価では「大いに役立っている」とし「高」と評価しているが、利用者の視点での評価、将来に向けた課題の把握が不足していると考えます。	企画財政課	4	ご意見として承り、評価を再考します。
					(F)東京おいらせ会支援は、効果があると思うが、ひとの流れをつくるまでには至っていないのでは。	企画財政課	4	ご意見として承り、効果的な取り組みを検討します。
(ウ)	地域資源を活かした観光の促進	1.9	1.8	2.0	(A)人口減少に伴い町内会が地域のコミュニティ維持に占める比重はより高くなっていくと思われまます。コミュニティ活動推進事業では結構な補助制度があります。使える財源が限られていく中で今の補助制度を維持していきけるか疑問符が付きます。よって町内会の自立を促すためにも徐々に半分ずつの負担にしていくべきではないか。	まちづくり防災課	4	町内会に対する負担の増加は、町内会費に反映され、加入率の減少を招くと思われる。平成27年度はコミュニティセンターの建設があったため、例年より補助金額が多くなっています。
					(D)おいらせ検定プロジェクト事業の受検者数がKPIとなっているが、事業シートでは「ガイドブックの制作費について今後も目途が立っていない」「ペーパー試験を行わずとも」と記載されており、抜本的な見直しが必要である。	商工観光課	3	まちあるき事業との統合や廃止を含め再検討します。(まちあるき事業を通じた町内の老舗、自然や歴史等の知識習得が効率的かつ有効ではないかと考えています。)
					(F)おいらせ検定はおもしろいと思うので、是非実現して欲しい。	商工観光課	3	まちあるき事業との統合や廃止を含め再検討します。(まちあるき事業を通じた町内の老舗、自然や歴史等の知識習得が効率的かつ有効ではないかと考えています。)
(エ)	教育環境づくり・生涯学習の推進 ※施策7は3ーイと重複	2.1	1.8	2.4	(A)この政策に関する事業は、従来からの継続されたものが多いと考えます。新しいものでは、阿光坊古墳館の建設ですが、短期的に有効性という評価は出しにくく長い目で、例えば小学校6年間を1サイクルとして郷土を見直す将来性につなげる視点が必要と考えます。	社会教育・体育課、学務課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(B)小学生を対象に副読本を配布し、郷土の良さを伝えていくことやふるさと学習塾により、住民の学習意欲の向上を図るなど事業の目指す姿に十分寄与しており、有効性・将来性ともに事業効果は高いと考えました。	学務課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F)総合計画という面では将来性もあると思われるが、新しいひとの流れを作るという基本目標においては、有効性は感じられない。	企画財政課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。



(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
基本目標(3)若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる						
(ア)	子育て支援の充実	2.2	2.2	(A)雇用があり、比較的安定した職がなければ結婚し、新しい家庭を営めない。誰もがそのように思っている。しかし、現実の社会はそうではない。我が町にとっては、今実行している政策をしっかりと推進し、十分な効果が見込めるよう鋭意努力していく、そんな熱意が大切であると考えます。	全体 (企画財政課)	4 情報共有や自己評価の強化等により職員の意識高揚に努めます。
				(B)少子化対策として最重要課題である子育て支援について、放課後児童クラブ事業や保育所入園前の乳幼児の育児の負担軽減に繋がる地域子育て支援センター事業などは、有効性・将来性とも高いと考えました。 また、多子出産祝金新事業については、平成28年度以降財政負担が課題であるが、合計特殊出生率の目標値1.80を上回る第2子への支給制度だけでも継続していただきたい。	町民課	4 合計特殊出生率は、一部の女性が第2子を授かった程度では1.8には至らないと考えますので、各種サービスの継続・更なる充実により経済的及び精神的な負担の軽減に努めていきたい。
				(D)3~5年毎でなければ判明しない実績値(統計等の公表値)をKPIに掲げるものはどうか、少なくとも近似数値を算出・記入しないと、適切な検証ができない。	町民課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				(D)掲げられる多くの事業は、各自治体横並びの補助事業である。今までの施策の実績を検証し、実効性の高い政策に発展させる必要がある。	町民課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				(E)待機児童がなく、働きながら安心して子育てできる環境が整っていると思います。頑張っている分野だと思います。もっとPRしても良いと思います。「暮らし、いいね。子育て、いいね。おいでおいらせ町」のポスターを、どんどん貼ってください。	町民課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				(F)子育て支援は、地方創生において目玉となるべき施策だと思う。それに比較して目玉がないと思う。	町民課	4 子育て支援において幅広く多くの支援を行っているのが当町が目玉(アピールポイント)と考えています。その強みを町外の方にどのようにアピールしていくのか工夫・検討していきたいと考えています。
				※個別事業それぞれの評価がほとんど「高」なのに対し、総合評価は「中」となっており、KPIの結果に偏っている。なぜ全体の目標達成に欠けるのか分析または評価を工夫する必要がある。 ※非常に断片的な数値のKPIになっており質の部分が加味されていない。	町民課 (企画財政課)	2 毎年成果の測れないKPIとなっているので、質の部分を加味した指標への見直しを検討します。また、KPIに偏っている総合評価の方法も再考します。
				※関連事業を全て評価するのではなく総合戦略としての目玉、重点を中心に評価する方法もあると思います。	町民課 (企画財政課)	3 今年度は、政策パッケージ毎の検証を実施したが、次回は検証方法を見直します。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
(イ) 安心して義務教育が受けられる支援の充実 ※施策7は2-エと重複	2.1	2.2	2.0	(A) 就学援助事業は、児童生徒の家庭の貧困と連結しています。特別支援教育支援員設置事業は、児童・生徒の学校授業の円滑化と連結しています。現状を維持安定するための事業に予算を計上しています。現段階では漸増していく可能性が高く、政策パッケージの全体とのバランスが必要。	学務課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
				(D) ふるさと学習塾開催事業で運営委員会の形式を廃止したとあるが、その目的は町民の自主性、自律性などの観点はどこで担保されたかが評価に影響すると考える。(講座が興味本位となり、人が集まったから「高」とするは安直ではないか、人づくり、まちづくりの視点が不足していると思われる。)	社会教育・ 体育課	4 役所がどのように運営しているのか、運営に住民をかかわらせ体験するという当初の目的を達成している。 平成28年度から体系を見直し、人材育成は、MI RAIカフェや専門講座で取り組んでいる。また、ふるさと学習塾から学びカレッジの一般講座は、誰もが気軽に学習できる場として提供していきたい。
				(D) 魅力あるまちづくりに図書館は大きな役割を果たすと思われるが、司書資格の位置づけと活用、図書購入費とメンテナンス経費の均衡など課題が潜在している。	社会教育・ 体育課	4 図書館の蔵書は、県立図書館の協力本5,000冊余の借り入れと、県内市町村図書館との相互貸借の連携により、図書購入費を抑えて利用サービスの充実・維持に努めています。 また、職員配置は、図書館の魅力を高めるため常勤の司書資格者の配置と常に2名が窓口対応できる体制づくりに努めています。 図書システムは、スムーズ(効率的)な貸出し及び適正管理により住民サービスの向上と貸出し数の増加に繋げるため必要なものであるが、全体経費に占める割合が高いので抑制に努めたいと考えています。
				(D) 教育費広域負担金事業の事業内容、抜本的な施設の老朽化対策、費用対効果について、有効性、将来性いずれについても疑義がある。	学務課 (企画財政課)	4 ご意見として承ります。
				(D) 阿光坊てづくり古墳館運営事業の1,956千円の内訳を精査したい。	社会教育・ 体育課	4 燃料費95,000円光熱水費140,000円施設管理委託料881,000円施設借り上げ料840,000円(平成28年9月25日をもって閉館しました)
				(F) 目玉がないと思う。	社会教育・ 体育課	4 町民が共に学び合い、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送る。また、心豊かで住みよい地域社会を形成することができるように、当町の特色を活かし、地域力向上のための人育てや団体育成、関係者・団体等の連携により魅力ある社会教育の推進に努め、きめ細やかな対応をしている。
				※学校図書購入事業で標準を達成していない学校名を挙げるべきである。	学務課	4 ご意見として承り、今後は評価シートに学校名を記載します。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
基本目標(4)時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する							
(ア)	地域の特性にあった土地利用	2.0	1.8	2.2	<p>(A) 成果目標についての数値の確定に間があまりすぎるので、有効性について即時評価は難しい。しかし、「土地利用計画」は、地域社会のバランスのとれた発展にとって欠かせないので、制度立案に向けて計画的な作業の実行を求めたい。</p>	企画財政課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
					<p>(C) この項のKPIの2項目の1番目にある「良好なまちなみである」と感じている割合を問う言葉があるが、そもそも「まちなみ」という言葉自体、非常に曖昧さを含んでいる。個人によって受け取り方が異なる。重要な数値だからこそ、もっと具体的なあるいは補助的説明が必要。</p>	企画財政課	1 この項目は、総合計画の達成指標となっているので、整合性を保つためにも削除せず、補助的な説明を追記します。総合戦略のKPI中の「まちなみ」の後に(適正な土地利用)を加えます。
					<p>(D) 土地利用計画調査検討事業の自己評価の記述に「プランの策定に向けて計画的かつ着実に作業が進められた」とあるが、このプランがどのように活用されるのか具体的に明示してほしい。事業の究極的な目標がプラン素案の作成に留まるのであれば、地方創生における検証が不要である。</p>	地域整備課 (企画財政課)	4 「都市計画マスタープランの策定に向けて計画的かつ着実に作業が進められた」→「町の上位計画における土地利用基本方針に基づき、まちづくりの具体性のある将来ビジョンを確立するため、都市計画マスタープランの策定を進め、適正な土地利用と人口誘導を図る。」に修正します。
					<p>(F) 定住・人口増加に大きく関わる分野であるので将来的に非常に重要だと思うが、KPIは本主旨には合致していない。 (F) 土地利用計画マスタープラン策定における用途の変更は必要。</p>	地域整備課 (企画財政課)	4 ご意見として承り、KPIの見直しを検討します。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
(イ)	効率的な行政サービスの提供	2.3	2.3	(A) 町有施設を今後どのようにしていくかについて、公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定することが計画されています。町の近未来を見据えて早急に策定して、町民の理解を得つつ熟議を重ねて着実に実行していきたい。	企画財政課	4 ご意見として承り、住民等との合意形成に努めます。
				(C) 「役場窓口がわかりやすく、利用しやすい」と感じている割合とは、確かに大切な指標であるし、効率的かどうかの判断基準にもなり得る。しかし、住民満足度やサービス向上を目標にするならば、「誠実さ、親切さ」など真のサービスとは何か、KPIにも生かしてほしい。	総務課	4 ご意見として承ります。
				(D) 効率的な行政サービスの提供の中で、あいさつ運動及び職員行動指針の評価については推進組織を中心に継続的に取り組んでいるとの記述のみである。次のアクションに向けた課題を記載してもらいたい。	社会教育・ 体育課、総 務課	4 あいさつ運動は継続することが大事であり、行政主導で行うのではなく町民の根っからの盛り上がりが大変重要です。そのためにも、学校関係(保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校)、家庭、地域(町内会)、各種団体、企業等に趣旨を理解していただき、それぞれが自由な発想の中で自発的な行動による町民提案型のソフト事業として展開しています。(社会教育・体育課)
				(D) 公共施設等総合管理計画策定事業を進めるにあたって、サービス享受する住民などステークホルダー(利害関係者、利用者)の意見を調整する機会が必要不可欠である。ロードマップを公表して進めるなど、住民との合意形成が重要である。	企画財政課	4 ご意見として承り、住民等との合意形成に努めます。
				(E) 最近の各種校長会、研修会、講演会に出席して改めて感じることは、AL型授業の推進とICT活用はまちがいなく将来の方向性だということ。小中学校に、思い切った、ICT環境の整備が必要だと思います。百石高校への支援事業は、高校統廃合計画が固まっていく、ここ数年が生き残りの勝負ですので、支援の継続をお願いします。	学務課	4 ご意見として承り、事業継続を検討します。
				(F) 地方創生総合戦略で検討することにそぐわないと思う。 (F) ハード(建物、施設、その他公共物)の適正化は、寿命等も考えると必要であるが、地方創生、人口増加、活性化等を意識したソフト面での主目的となるべき方針の策定が最要だと思う。	企画財政課	4 ご意見として承ります。
				※施設の塗装や修繕は無理やりパッケージに入れなくても良いと思います。	企画財政課	4 来年度からは行政での評価とし、検証事業から除外します。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)		(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5)判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(ウ)	公共交通の利便性 と利用の促進	2.1	2.0	2.2	(A)下田駅を利用する年間乗客数を平成31年までに5,000人増の目標を掲げていますが、困難な数字だと考えます。現在の基礎数値に1年毎に1,000人ずつ増やす企画でもあれば別ですが。	企画財政課	4	ご意見として承り、乗客数を増加させる施策・取り組みを検討します。
					(D)下田駅を利用した年間乗客数をKPIとしているが、目標値達成に向けた町の施策(総合戦略事業)の記載が無い。(向山駅愛好会へのハートピア助成によるマイルールの意識の向上はあるが…。)	企画財政課	4	ご意見として承り、乗客数を増加させる施策・取り組みを検討します。
					(D)町民バス運行事業の自己評価では改善の余地があるとしているが、今まで試行錯誤の経験則を中心に評価・分析してきているのが実情のようである。地域交通の専門家による意見の聴取など科学的な分析と対策が必要である。	企画財政課	4	ご意見として承り、専門家による分析を検討します。
					(E)前回も話しましたが、三沢、木ノ下方面から通学する生徒にとって、片道200円で、ちょうど良い時間帯に運行している町民バスは大きな魅力です。確実に、百石高校受験者増加に結びついています。継続を強く要望します。	企画財政課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F)百石高校便の運行は良いアイデアだと思う。町民等のニーズに沿った柔軟な対応が不可欠ではないか。	企画財政課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
(エ)	広域連携による自 立的な地域づくり ※1-クと重複	2.3	2.4	2.2	(A)連携が順調に推移していく中で、将来的に当町の自立性を如何に維持していくかが肝要。	企画財政課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。
					(D)事務組合負担金の評価は、施策内容から行政(施策)評価に委ねたい。	企画財政課	3	来年度からは行政での評価とします。
					(D)総合戦略の視点で評価を求めるなら、なぜ広域で取り組むのか、そのメリット、そのことがどう定住促進につながっているのかの記述が必要である。	企画財政課	4	総合戦略における視点での効果等を検証資料及びアクションプラン等に記述します。
					(F)他市町村と関連した事業であり、単独では変えようがないと思います。総合戦略パッケージに乗せること自体に疑問あり。	企画財政課	4	ご意見として承り、掲載する意義をアクションプラン等に記述します。



(1) 総合戦略で掲げる政策パッケージ(21政策)		(2) 総合評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
(オ)	健康づくりの推進	2.1	2.0	2.2	(A) 我が町は健康長寿青森県一を目指して、様々な施策を展開しております。長寿化に伴い、現今60代は、まだまだ労働の担い手としての活躍の場が見込まれております。その意味で健康であることが前提になります。特定健康受診率及び人間ドック等、健診の年代別のデータが欲しいものです。	環境保健課	4 H20の特定健診実施時からのデータや国保データヘルス計画の数値等を活用し工夫していきたい。
					(D) 一部に参加人数や予算の消化を有効性の判断基準としている。施策の初期の目的が達成されているか、ステークホルダー(利害関係者)の声などの質的評価が把握されないと、次への改善、発展には結びつかないと考える。	環境保健課	4 保健事業参加者だけでなく、機会をとらえて町民の声を反映させた企画内容にしていきたい。
					(F) いちようマラソンをもっと盛り上げるのもおもしろい。	社会教育・体育課	4 町民を取り込み、一緒に盛り上げる方法等の情報収集をしているが、当町らしさが見つからないため模索中である。実現可能な良いアイデアがあれば情報提供していただきたい。
(カ)	防災体制の充実	2.1	2.0	2.2	(A) 消防団員数の減少が見込まれるなか、減少幅を最小限に抑えている点は評価します。只、平成31年の目標値が1割増を見込む根拠が定かにされていません。また、自主防災組織の組織率が上がっている点も評価します。有事の際にしっかり機能できる組織であるためには、行政の後押しは欠かせないものがあると考えます。	まちづくり防災課	4 これまでの人口増加や当町の地域特性を踏まえると消防団員が不足しており、本格的な少子高齢化及び人口減少が始まる前に組織の強化・拡充を図る必要があります。また、自主防災組織が有事の際に被害を最小限にできるよう、今後とも自主防災組織での啓蒙や訓練を支援していきます。
					(D) 消防団員数(増加)をKPIとしているが、人口減少が進み、働き方の多様化が進むなか、その実現性が低い。防災組織や婦人消防クラブなど様々な関係団体と連携、役割分担を進めながら目標達成することが重要ではないか。	まちづくり防災課	4 平常時や災害時などの消防団と自主防災組織の役割を区分し協力体制を築いていく必要性があります。また、地域によっては防災訓練に地元の消防団が参加している例があるため、他の自主防災組織や消防団にその取り組みを周知していきます。
					(D) 自主防災組織育成支援事業では、組織化に向けて地道に活動に取り組んでいる。将来の成果に期待したい。	まちづくり防災課	4 自主防災組織について組織化や防災訓練などの相談があれば積極的に応じており、必要があれば防災訓練などで講話も行っています。このような町の支援についても周知していきたいと思えます。
					(E) 百石道路避難階段設置は良いアイデアで、メディアにも取り上げられ、大変良かったと思います。全体的に頑張っている分野だと思います。	まちづくり防災課	4 今後は、町内外の防災を考えるための視察等の受け入れや、地域の自主防災組織や町内会による百石道路避難階段を活用した防災訓練の取り組みを進めていきたいと思えます。
					(F) コミュニティを維持するために自主防災組織の活性化は不可欠だが、若者が参加しやすい興味を引く施策も必要ではないか。 (F) 人口増加、定住には防災は大事な要素だと思う。	まちづくり防災課	4 町内会や自主防災組織によっては、子どもやその若い親が集まる夏祭りなどのイベントで防災訓練も兼ねているところもあるため、他の自主防災組織にそのような取り組みを広めていきたいと思えます。
					※小さな町内会は人が少ないので自主防災が確立されておらず組織化されそうにもない。その課題をどう克服するのか考える必要がある。	まちづくり防災課	4 小さい町内会同士で集まり組織化を目指すのがいいと思われ、そのためのリーダーとなる人材が必要と思われ。町で実施している防災リーダー育成のため防災士育成事業を小さい町内会により周知していきます。



(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)		(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5)判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする	
(キ)	防犯体制の充実	2.0	1.8	2.2	(A)この政策パッケージの事業では、街灯管理事業の電気代に多大な金額を費やしております。今後、LED化され電気代が節減できたら、その分の予算を防犯のソフト面の充実に充てては如何でしょうか。	まちづくり防 災課	4	街路灯のLED化により節減できた電気代をそのまま灯具リース料に充当する計画となっています。
					(D)自主防犯組織の結成に向けて、どのような施策を具体的に講じたのか、ただ制度の構築に留まり、申請を待っていたのかで、評価が分かれるところである。	まちづくり防 災課	4	自主防犯組織へ物品などの貸与を行っている。自主組織であるため、組織結成に向けた呼びかけを行っています。
					(D)街灯管理事業で事務が適正に執行されたことを(高)と評価しているが、政策の初期目的が達成されたか否か言及してほしい。	まちづくり防 災課	4	現に犯罪発生件数は減少しておらず、犯罪の抑止という観点からすれば初期の政策目的が達成されたとは言えないが、修繕や支払という管理部分においては適正であったと考えています。
					(D)空き家対策事業では、平成27年度5,929千円の委託料を費やし空家等管理システムを構築したとしている。本年度以降、どのように活用されていくのか、パフォーマンスを注視したい。	まちづくり防 災課	4	特定空家等の対策について具体的に検討を進めていきます。
					(F)人口増加、定住に防犯は大事な要素だと思う。	まちづくり防 災課	4	ご意見として承り、今後の参考とします。町としても防犯は大事な要素と考えています。

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)	(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進行管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
総括	全体に対する意見			<p>(D) マネジメントサイクルにおける検証(チェック)とは、実績と予算を照らし合わせ、差異を分析し、企業(自治体も同様)が抱える課題を明確にする作業で、何が間違っていたかを発見する作業である。明確になった課題については是正策を講ずる、これがアクションであり「PDCAサイクル」につながる最初の一步になる。検証シート(自己評価及び今後の課題)を記載した事業担当者にこのような視点が不足していると感じられた。</p> <p>(D) 今回の評価の視座は、総合計画における行政(政策)評価ではなく、まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進する上での評価である。具体的に言うなら、町が人口ビジョンに掲げた特殊出生率等を達成するため、人口減対策としての雇用安定や子育て環境の整備に効果を上げているか、である。評価シートにこの視点の記載が見られなかったため、検証部員の評価作業と部会の合意形成を困難にしたのではないかと考える。</p> <p>(D) これらを解消するための一つの方法として、総合計画レベルの行政評価、広域事務組合負担金、法令外負担金の検証は(自治体)職員が行い、検証部会への報告事項とする。一方、地方創生の諸対策事業に直結するものは、検証部会の審議事項とするなど、ふるい分けすることで評価が適切なものになると考える。</p> <p>(D) 今回の検証は、昨年度の一年間の短期の実績を見て一喜一憂するのではなく、5年先の「中長期計画」に向けて正しく着実に前進しているかどうか、を確かめる作業である。その状況を正確に把握し、運用するためのマネジメントサイクル及びKPIの活用であるが、ツールとして十分に使熟しているとは言い難い。例えば、KPIの数値が、統計数値の公表を待たなければ記入できないなど、進行管理を困難にさせている箇所が複数ある。また、KPIに掲げた項目が事業のどの側面を捉え、どう反映しているのかが悩ましい箇所もある。さらにKPIにどう質の評価(サービスの受益者の満足度など)を加え、より正確に捉えるかなど、工夫が必要である。</p> <p>(D) 蛇足であるが、近ごろの政治状況を見ると、第3次安倍改造内閣は「1億総活躍社会」実現を打ち出し、地方創生がかすんでいる。このことは、政府の予算措置の状況を見ても然りである。総合戦略会議でも発言したが、「地方創生はプレミアム商品券を中心とした政府の一時的な経済政策にとどまる可能性が高い。様々な意見を取り込んでの計画策定は総花的になりがちで、実効性に疑問が持たれることが多い。国の一過的な施策に躍らされることなく、自治体が自らの問題として、どんな目標を持ち、誰が何をやるのか、効果は検証できるのか、成果を見据えた中身の濃い計画づくりに特化することが必要だ」と発言した。地方創生の要諦は、首都圏からの移住と若者の就業の場の確保による都会への流出を如何に防ぐか(社会減の対策)と、出産、子育て支援(自然増)の政策的確立である。このことを念頭に、実効性のある施策(事業)を重点化し、評価(マネジメントサイクル)していくことが肝要と考える。</p>	全体 (企画財政課)	<p>ご意見として承り、今後の参考とします。 ※現状の情報共有や自己評価の強化等により職員の意識高揚に努めます。 ※総合戦略としての重点を定め、集中的に評価・検証を実施します。</p>
				<p>(D) 些末な事項であるが、地方分権の推進や自治の確立が求められるなか、記述や表記にも注意を払ってもらいたい。(例)2頁中の「誰も教えてくれない」⇒日常知る機会の少ない、3頁中の「教育の観点から」⇒生涯学習の観点から、同頁中の「最小の経費で」⇒経費を抑えて、19頁中の管下小学校⇒町(管)内の小学校など。</p>	学務課	<p>ご意見として承り、今後は記述等を修正していきます。</p>
				<p>※各政策パッケージには、多くの個別事業が入っており、それぞれの評価があるので政策パッケージ毎の評価は難しい、幅広い事業を効率的にやっていくのは非常に難しいので工夫が必要である。 ※どこがポイントになるのか先に教えてもらえれば評価しやすいと思う。</p>	企画財政課	<p>今年度は、政策パッケージ毎の検証を実施したが地方創生に直結する重点となる個別事業(一部選抜)の検証に改善します。</p>

(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)		(2) 総合 評価	(3) 有効性 1~3	(4) 将来性 1~3	(5) 判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見	(6) 担当課	(7)【行政の対応方針】 1. 戦略(KPI含む)を見直しする 2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する 3. 進捗管理(検証含む)を見直しする 4. ご意見として承り、今後の参考とする
総括	全体に対する意見				(B) 成果目標(KPI)の項目及び数値の設定は、PDCAサイクルを回す上でとても重要であることから、自前(担当課)で実績及び進捗状況を把握できなければ、即時に分析・検証を行うことができずサイクルが機能しないこととなる。そのため、各事業の結果(アウトプット)の状況だけでなく、その事業結果が成果(アウトカム)にどう結び付いたのか関連付けすることも必要と考えます。	全体 (企画財政課)	2 毎年評価できる指標へ変更又は検討していきます。
					(B) 検証部会の在り方からすると、政策パッケージ全事業の資料は配付しつつも、検証内容は行政側が内容を絞り込んで検証部会に諮る方が効果的と考えます。	企画財政課	3 今年度は、政策パッケージ毎の検証を実施したが、次回は検証方法の見直しをする。
					(E) 総合戦略の全体を数人で検証することはそもそも厳しいことです。説明を聞くだけでも時間がかかり、町政全体を評価するような気持ちになりました。町議会議員になった気分でした。時間をかけた分の効果があるのだろうか、と疑問にも思いました。難しかも知れませんが、検証部会で検証してほしいことを絞って審議する訳にはいかないのでしょうか。	企画財政課	3 今年度は、政策パッケージ毎の検証を実施したが、次回は検証方法の見直しします。
					(F) シナジー(他部署が連携・共同で事業を行い効果を高める)が期待できるのに、各課単位、縦割りの事業になっているのが残念だと思います。例えば基本目標の達成のために横断的なプロジェクトチームや新しい課を考えてみてはどうでしょうか。	総務課 企画財政課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F) 全体的に各政策パッケージは、“総合計画”の延長となっている感があり、“地方創生”の観点からの施策が少ないのが残念だと思った。	全体 (企画財政課)	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F) KPIについても、もっと基本目標を絞りこんで、その基本目標で決定した数字にするべきではないか。	企画財政課	4 ご意見として承り、今後の参考とします。
					(F) 地方創生に直結する部分に絞り込み、他市町村にないイオンモール下田や高速道路等のコンテンツがあるのだから、他にないアイデアを盛り込んだ選択と集中で政策パッケージを策定する必要があると思う。	企画財政課	2 地方創生の視点による新たな政策、事業を検討します。
					※評価は、条件を満たして必要箇所だけミニマムに実施するべきで、チェックも大事だが次のアクションにどう結び付けるかが一番大事である。 ※来年度はクリエイティブなものにしていくところにエネルギーを使った方が良い。 ※本当の意味でのパッケージになっていない。よって総合計画での評価が主であり総合戦略での評価になっていない。	企画財政課	3 評価・検証は、地方創生に直結する重点事業のみを選抜して実施し、新たな政策、事業を検討します。

<p>(1) 総合戦略で掲げる政策 パッケージ(21政策)</p>	<p>(2) 総合 評価</p>	<p>(3) 有効性 1～3</p>	<p>(4) 将来性 1～3</p>	<p>(5)判定理由、良い点、悪い点(課題)、見直し提案など意見</p>	<p>(6) 担当課</p>	<p>(7)【行政の対応方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦略(KPI含む)を見直しする</li> <li>2. 戦略(KPI含む)の見直しや事業実施を検討する</li> <li>3. 進行管理(検証含む)を見直しする</li> <li>4. ご意見として承り、今後の参考とする</li> </ol>
---	--------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	--------------------	---

○評価について

(1)有効性について・・・取組項目及び各個別事業が有効であったか、なかったかを「高=3点・中=2点・低=1点」から一つ選んで判定

(高)⇒成果目標(KPI)や取組内容・目指す姿を大きく超え効果が大きかった。

(中)⇒成果目標(KPI)や取組内容・目指す姿を概ね達成し効果があった。

(低)⇒成果目標(KPI)や取組内容・目指す姿を達成できず効果が小さかった。また、改善する必要がある。

(2)将来性について・・・取組項目及び各個別事業の効果拡大やより効率的な事業展開などの可能性を「高=3点・中=2点・低=1点」から一つ選んで判定

(高)⇒今後、大きな事業効果が見込まれる。継続する必要性は大きい。

(中)⇒今後、事業効果が見込まれる。継続する必要がある。

(低)⇒今後、事業効果が見込めない。見直し(廃止含む)を要する。

(3)有効性や将来性の判定理由や良い点、悪い点(課題)、見直し提案など

○(1)有効性と(1)将来性の点数は、評価部員6名の平均点となります。

○総合評価は、(1)有効性と(2)将来性の平均点となります。

○(A)～(F)は、6名の検証部員から提出された検証シートの意見になります。また、※印は、会議の中で出された意見になります。